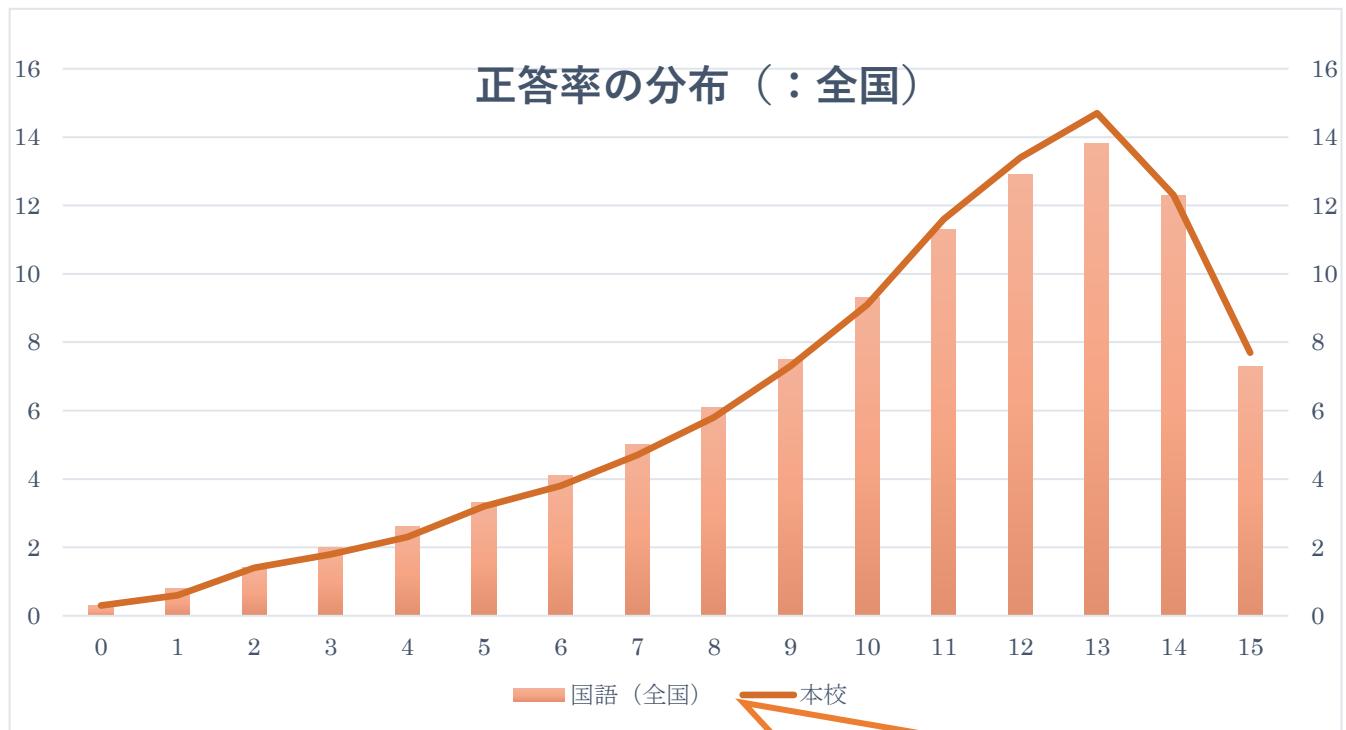


○正答率の分布（国語）



【国語】

全国平均を上回る好成績でした。中央値も全国を上回ると同時に、グラフでは見えにくいのですが、全体の差も全国よりも小さいことが分かりました。

設問ごとにみると、15問のうち全国平均を下回った設問が1問ありました。（4一 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す）

4四（インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く）、4三（現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているのかについて、古典と比較して書く）という記述力を求められる問題は、全国平均を10ポイント程上回る好結果でした。自分の考えを文章にするのが得意な学年であることがわかりました。

▼正答率が全国平均を下回った設問

- ・4一 〈原文〉の線部「いひける」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

…歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかを見る。

●正答率が全国平均を大きく上回った設問

- ・1四 インタビューを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を相手に伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。(記述式)
- ・2二 【A】と【B】の文章に共通している表現の効果を説明したものとして最も適切なものを選択肢から選ぶ。
- ・3二 「おし量る」(漢字の書取り)
- ・4三 作家の星新一が工夫を加えて書いた「竹取物語」の一部は、古典の作品である「竹取物語」の一部と比べて、どこがどのように工夫されていると考えられますか。(記述式)

▼1四是、仮名遣いの書替えの問題。中1で学習する内容です。2年経って忘れてしまった人もいるのかもしれません、しっかり復習しておいてほしい「知識・技能」です。

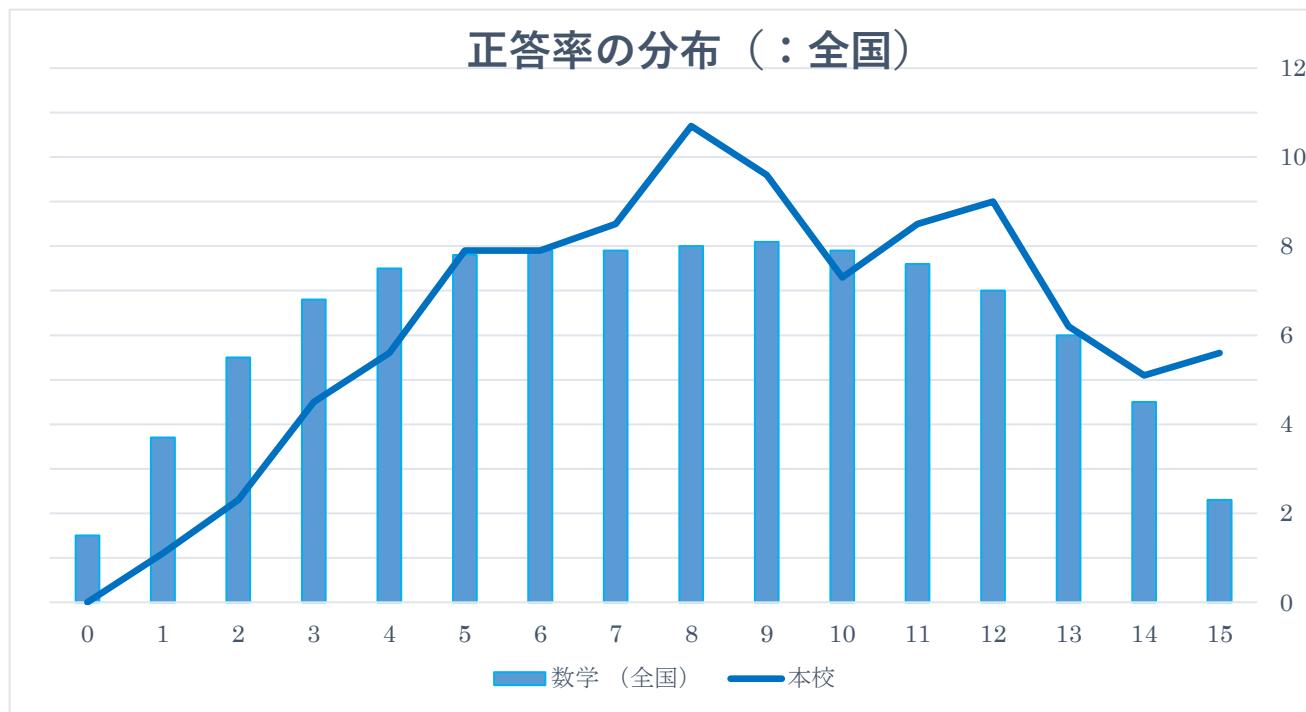
●2二是、異なる二つの文章に共通してみられる表現の効果を見つける設問でした。表現効果に気づくというのは、いかに相手に効果的に伝えるか、どう伝わるかに関わる力です。普段授業中に発表したり、人に何かを説明したりするときに、伝え方・伝わり方を少し意識するだけでも、力につくことができると思います。

●3二の漢字の書取りは、京都市全体ではここ数年低迷している力ですが、みなさんは全国平均を大きく上回りました。GIGA 端末を使う機会が増えれば増えるほど、授業中に漢字を書く機会も減ってきているかもしれません。今後気を付けたいところですね。

●4三是、古典作品をもとに書かれた星新一の文章の工夫点を指摘する記述式の問題でした。2二でも表現の効果について問う問題がありましたが、ともに全国平均を大きく上回る結果でした。この設問に関しては「無回答率」のポイントも全国の半分以下で、多くの生徒が自信をもって回答できたことが伺えました。

自分の考えを人に伝える「自己表現力」の基本は、言葉を使ったコミュニケーションです。相手意識をもちながら表現することは、「協働力」も必要になります。

○正答率の分布(数学)



【数学】

全国平均を上回る好成績でした。全体の格差も全国より少なく、他方、上位層の伸びはグラフから明確に読み取れるほどはっきりわかります。

設問ごとに見ると、全国平均より下回った問題は2問ありました。（7二 四分位範囲を求める／9一 三角形の合同を基にして二つの直線が平行であることを証明する）ただ、この2問に関しては全国平均自体も正答率50%を切る記述式の設問であることから、本校だけの問題ではないと言えるかもしれません。

学習領域では、「データの活用」の設問に関して、正答率が全国平均を10ポイント以上も上回っていました。

▼正答率が全国平均を下回った設問

・7 (2) 「箱ひげ図」の箱に着目して、一花さんの主張する図の読み取りの理由を説明しなさい。

… 複数のデータの分布の傾向を比較して、数学的な表現を用いて判断の理由を説明する。

・9 (1) 直線B Cと直線A Eが平行であることを、△ABCと△CEAが合同であることをもとにし
て証明しなさい。

… ある事柄が成り立つことをもとにして証明する。

●正答率が全国平均を大きく上回った設問

・1 (1) -5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数をすべて選びなさい。

… 自然数の意味を理解している。

・5 中学生の水泳大会に出場した選手40人の記録を調べ、累積度数を記入する。

… 累積度数の意味を理解している。

・7 (1) (表の) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

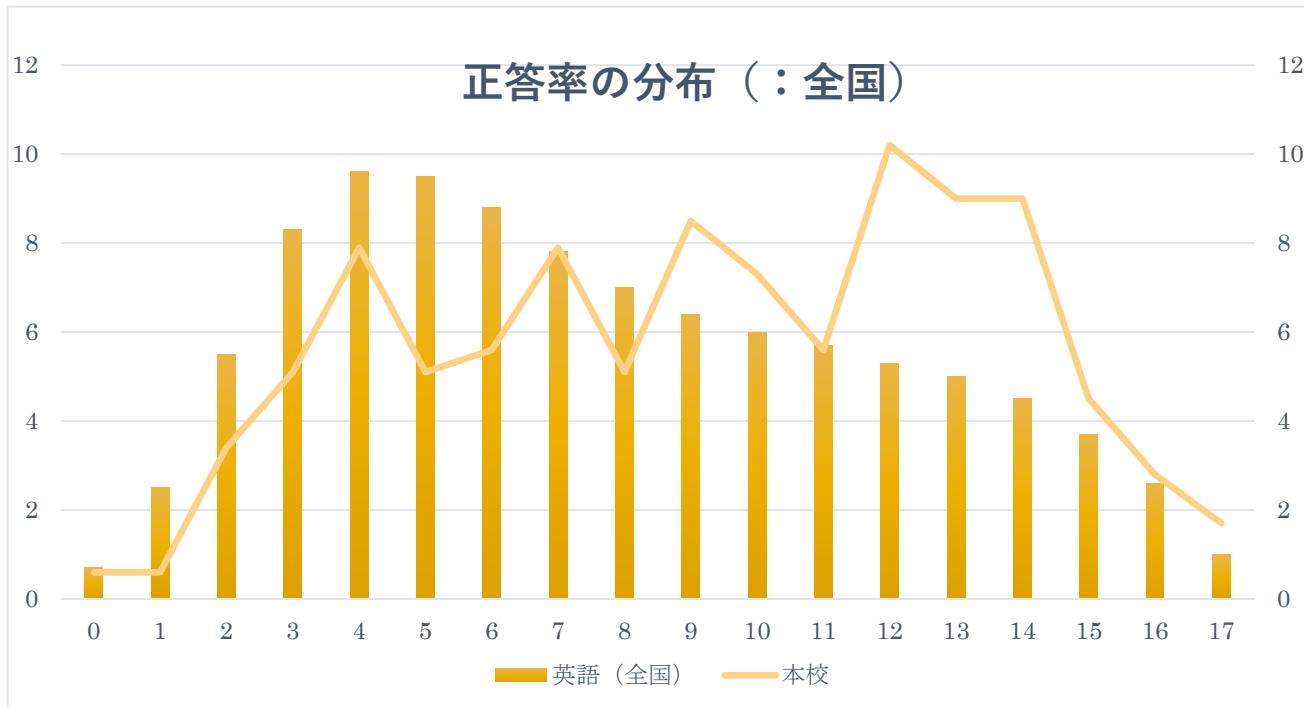
… 四分位範囲の意味を理解している。

▼7(2)は、集団のデータ分布を示すことができる「箱ひげ図」を読みとった上で、データ分析の根拠を数学的な表現を用いて説明できるかどうかを問う設問でした。正答率は全国平均を下回っただけでなく、半数以下の生徒しか正答することができませんでした。日常的な事象を数学的な表現で説明する力は、昨年度の3年生も少し苦手とするところでした。これは全国にも言える傾向です。9(1)は、オーソドックスな図形の証明問題でしたが、7(2)同様、半数以下の生徒しか正答することができませんでした。また、9(1)、7(2)ともに無回答率は約15%、ひとクラス当たり4,5人の人は空欄で提出したことになります。

●全国平均を大きく上回った3問1(1)、5、7(1)はそれぞれ、「自然数」「累積度数」「四分位範囲」という数学的な用語の理解ができているかどうかを問う設問でした。日常の中に数学的なものを見出すこと、それを数学的な用語を用いて説明することも、まずは用語や概念を正確に理解することが基盤となります。

数学で学習する知識と日常生活との間に、頭の中でまだ隔たりを感じている人が多いのかもしれませんね。生活の中に数学的なものを見出すことは、本校の目指す7つの力のうち「論理的思考力」を鍛えることになりますよ。

○正答率の分布(英語)



【英語】 全国平均を10ポイント以上も上回る好成績でした。設問ごとに見てもすべての設問で正答率が全国平均を上回っています。中でも、「聞き取り」の1～3については5問中4問が全国平均を10ポイント以上も上回る健闘ぶりでした。

ただし上図の正答数分布にはかなりばらつきがみられます。全国平均は正答率3～6問のところに山がある状態ですが、本校は山が4つ。少し差がついてしまっている状態です。

●正答率が全国平均を大きく上回った設問

- ・① (2)～(3) 「話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選ぶ」
…情報を正確に聞き取ることができる力
- ・② 「流れて来る自動音声案内メッセージを聞き、適切な動作を表す絵を選ぶ」
…日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる力
- ・③ 「バーベキューPARTYについての説明を聞き、質問の答えとして適切な答えを選ぶ」
…日常的な話題について、状況を判断し、情報を正確に聞き取ることができる力
- ・④ 「シンガポールの水問題について、ジェニーが最も伝えたいことを選ぶ」
…社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる力
- ・⑤ (2) 「事実や考えが書かれた短い英文を読み、考えを表している文を選ぶ」
…事実と考えを区別して読むことができる力

- ・**8** (2) 「ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く」

…社会的な話題に関して読んだ内容について、自分の考えを理由とともに書くことができる力

- ・**9** (1) ① 「会話が成り立つように空欄に入る適切な文章を選ぶ」

…未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる力

▼正答率が3割以下である設問

- ・**8** (2) 「ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く」

…社会的な話題に関して読んだ内容について、自分の考えを理由とともに書くことができる力

- ・**9** (1) ① 「会話が成り立つように空欄に入る適切な文章を選ぶ」

…未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる力

- ・**10** 「学校の Web サイトに掲載するために、学校生活の中から紹介したいものを 1 つ取り上げ、25語以上の文章を書く」

…日常的な話題について、事実や考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる力

●「聞き取る」「要点をとらえる」「読む」「書く」と、満遍なく力をつけていていることが分かる結果でした。ただ、正答率の分布にはばらつきがみられることからもわかるように、個人個人には苦手な領域があるかもしれません。どのような領域を苦手としているのかをしっかり確認することで、さらに力を伸ばしていくことができると思います。

▼正答率が30パーセントを下回る設問については、全国平均も同様の傾向が見られました。

8~**10**の設問は、英文を読んだ上で、自分の考えを書いたり、英文を別の表現に書き換えたり、といった、実用的な設問内容になっていました。無回答率も全国平均よりは低いものの、20パーセント近くの設問もあり、クラスで5,6人は空欄で出したことになります。

日常生活で英語を使いこなすことは、7つの力のうち「自己表現力」「問題解決力」に関わります。